

持続化補助金の市場・自社分析に使えるツール① RESAS



岐阜商工会議所 支援グループ
中小企業診断士
磯野 拓実

本年5月頃に予定されている「小規模事業者持続化補助金」。事業計画を作る中で、市場調査と自社分析がハードルになる方も多いでしょう。「書けない」を「書ける」に変える実践的な分析ツールをご紹介します。

『うちだけ厳しい?』をデータで確認しよう

RESAS(地域経済分析システム)とは、地域経済に関するビッグデータを地図上やグラフで見える化できる政府のシステムのことです。昨年10月に新機能として「**中小企業経営分析**」と「**経営環境分析**」が追加されました。この機能を使うことで、「うちの業績は業界全体と比べてどうなのか?」を、感覚ではなくデータで確認できます。また、今後小規模事業者持続化補助金(以下、持続化補助金)の申請を検討している方には、ぜひ一度触っていただきたいツールです。

使い方

- 1 ブラウザで「RESAS」と検索し、サイトを開く
- 2 メニューから「経営環境分析」で業界全体の流れをざっと確認する
- 3 「中小企業経営分析」で、自社業種を選び、業界平均値をみる

RESASは無料で利用できます。感覚だけで捉えていた「業界動向」をデータで確かめるきっかけとして、まずは一度RESASを開いてみてください。



活用方法を考えてみよう (喫茶店の場合)

経営環境分析：経営環境が信号の色で直感的に分かる



まず「経営環境分析」で「喫茶店業界全体の売上は戻りつつあるのか」「付加価値額*は前年度と比較してどれくらい伸長しているのか」といった業界が拡大傾向か縮小傾向にあるかをつかみます。その後、自社が黒字か赤字かを選択すると、【図1】のような4パターンの信号が提示され、自社の置かれている状況をはっきりさせることができます。次に「中小企業経営分析」で、同じ業種を選び(本ケースでは中分類「飲食店」)、業界平均の売上高構成・人件費・家賃や減価償却などの負担を確認します【図2】。自社の決算書と並べてみると、「うちは人件費が高めだが家賃は軽い」「利益率が業界平均より低い」といった傾向が一目で分かります。因みに業界平均の過年度推移も確認可能です。

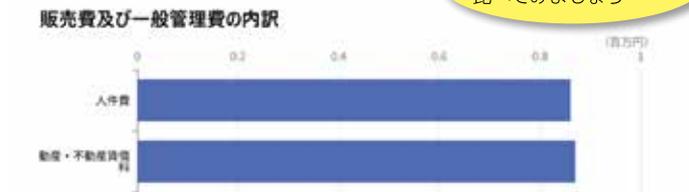
*付加価値額 = 売上高 - 費用総額 + 給与総額 + 租税公課

中小企業経営分析：業界平均の決算書が分かる



【図1】信号で示した自社の経営環境 出典：RESAS

自社の状況と業界平均を比べてみましょう



【図2】飲食店を選択した「中小企業経営分析」出典：RESAS

持続化補助金の事業計画書でこう使う

事業計画書では「自社の現状」と「市場・顧客の動向」を数字で示すと説得力が増します。

まず「中小企業経営分析」で、自社の人件費や、家賃などのコスト推移と利益率を業界平均と比べ自社の課題を整理します。次に「経営環境分析」で、業界全体の付加価値の推移を確認し、「〇〇業全体では直近数年で付加価値額が△%増加している」などの一文を、グラフとセットで書きます。

これらを合わせることで、「業界全体は伸長傾向にあるが、当店の利益率は業界平均を下回る」ため、「更なる販路開拓・生産性向上による利益拡大のために、今回の設備投資やIT導入が必要だ」と説明できます。

「うちだけ厳しい?」その原因は業界要因なのか、自社の問題なのか、ぜひ「感覚」でなく「データ」で確かめ、今後の事業計画に活用してみましょう